

2023年2月16日

株式会社ACSL

## ACSL、国産ドローン SOTEN（蒼天）と Liberaware が開発したクラウドサービス「LAPIS」がシステム連携し、動画管理・3D化が可能に

- セキュアな国産ドローン SOTEN（蒼天）と Liberaware が開発する「LAPIS（ラピス）」がシステム連携を開始
- 本システム連携により撮影動画の点群・3D 画像・オルソ画像等のデータ化が可能となることで、SOTEN（蒼天）の利活用の幅が広がることが期待

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：鷲谷聡之、以下、ACSL）は、同社が提供するセキュアな国産ドローン SOTEN（蒼天）と、株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関弘圭、以下、リベラウェア）が開発する動画管理・画像処理申請が可能なクラウドサービス「LAPIS（ラピス）」がシステム連携を開始することをお知らせします。



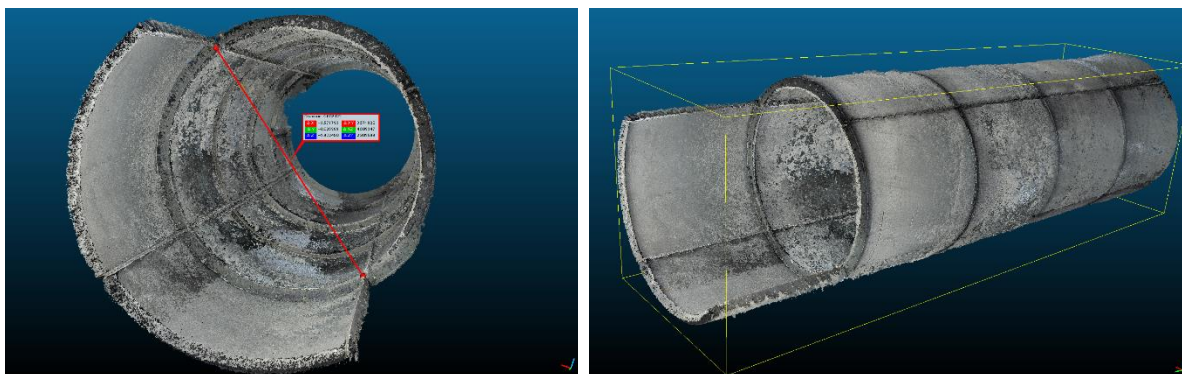
今回の連携により、屋内点検用ドローン「IBIS」の撮影データだけでなく、「SOTEN」の撮影データをクラウドサービス「LAPIS」を使用することによって、3D化が可能になり、屋内・屋外にかかわらず、あらゆるデータを3D化することが可能になります。

SOTEN は、測量、インフラ点検、災害時の状況把握などの分野での活用が見込まれますが、本システム連携により撮影動画の点群・3D 画像・オルソ画像等のデータ化が可能となることで、より利活用の幅が広がることが期待されます。

### 【サービスイメージ】



### 【3D画像イメージ】



#### ■小型空撮ドローン SOTEN（蒼天）について

A C S L の SOTEN (蒼天) は、高いセキュリティを実現したドローンへの需要が高まる中で開発した、セキュアな小型空撮ドローンです。データの漏洩や抜き取りの防止、機体の乗っ取りへの耐性を実現し、通信・撮影データは暗号化しているため、セキュリティ面でドローンの活用を不安に思われるお客様に安心してご活用いただけます。また、最大対気速度 15m/s の耐風性能や、日本においてより高精度な位置情報を把握することができる SLAS/SBAS (準天頂衛星システムみちびきのサブメータ級測位補強サービス) を搭載するなど、実現場で求められる飛行性能を持っています。

詳細は A C S L の製品サイトをご覧ください。

<https://product.acsl.co.jp/product/post-369/>

#### ■動画管理・画像処理申請が可能なクラウドサービス「LAPIS（ラピス）」

「LAPIS」は屋内点検用小型ドローン「IBIS」で撮影した動画データを管理し、その動画から画像処理された 3D 化データも一元管理することができるクラウドサービスです。今回の連携により、「IBIS」だけでなく、屋外ドローンの「SOTEN（蒼天）」も加わり、より幅広い企業に活用して頂き、誰もが安全な社会づくりに貢献します。

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社 A C S L 担当：廣嶋（ひろしま）

Tel: 03-6661-3870 Email: [sales@acsl.co.jp](mailto:sales@acsl.co.jp)

以 上